

LINE 株式会社 2020 年第 2 四半期決算発表

2020 年 7 月 29 日

LINE 株式会社（証券コード 東京証券取引所：3938、ニューヨーク証券取引所：LN）は本日 2020 年第 2 四半期決算を発表いたしました。

第 2 四半期収益及び事業ハイライト

ユーザー/エンゲージメント指標

- 主要 4 カ国の MAU は 1 億 6,600 万人となりました
 - 第 2 四半期における国内 MAU は 8,400 万人となり、前年同期比で 300 万人増加いたしました
- 主要 4 カ国の DAU/MAU 比率は 79%となりました
 - 国内の DAU/MAU 比率は 85%と高水準を維持しており、LINE プラットフォームの引き続き強固なエンゲージメントを表しております

事業概況及び財務指標

全体

- 売上収益は 584 億円(YoY 5.3% ↑ / QoQ 1.0% ↓)となりました
- 営業損失は 96 億円となりました
- 海外売上比率は全体の 28%となりました

コア - 全体

- 当四半期のコア事業の売上収益は 505 億円(YoY 4.4% ↑ / QoQ 2.6% ↓)となりました
- コア事業の営業利益率は 20.0%となりました。LINE マンガにおいて、7 周年記念イベントの実施等、積極的なマーケティング施策に伴う広告宣伝費の増加により、営業利益率は前四半期より 3.1 ポイント減少しましたが、前年同期比では 2.3 ポイント増加いたしました

コア - 広告

- 広告全体の売上収益は 319 億円(YoY 3.9% ↑ / QoQ 3.6% ↓)となりました
- ディスプレイ広告の売上は 164 億円(YoY 42.9% ↑ / QoQ 6.6% ↑)となりました
 - LINE NEWS 及びスマートチャンネルの広告インプレッションの増加が好調な業績の主な要因となります

- 当四半期の広告インプレッション数は前年同期比 114.0%増加、前四半期比 27.7%増加となる 806 億インプレッションとなりました
- 新型コロナウイルスの影響を受け、配信広告主数は一時的に減少したものの、徐々に回復基調にあります
- アカウント広告の売上は 136 億円(YoY 12.9% ↓ / QoQ 13.1% ↓)となりました
 - 緊急事態宣言が発令された 4 月以降、企業とユーザーのオンラインでのコミュニケーション手段として「LINE 公式アカウント」の利用ニーズが高まり、オンラインでの新規開設数が大幅に増加しました
 - また、7 月より「LINE 公式アカウント」と通話ができる「LINE コール」の提供を開始いたしました。初速は好調であり、クライアントからご好評をいただいております
- その他の広告の売上は 19 億円(YoY 47.7% ↓ / QoQ 6.9% ↓)となりました

コア - コミュニケーション・コンテンツ・その他

- 広告を除くコア事業の売上収益は 187 億円(YoY 5.3% ↑ / QoQ 0.8% ↓)となりました
- コンテンツの売上は 105 億円(YoY 12.7% ↑ / QoQ 1.8% ↑)となりました
 - 新型コロナウイルスによる外出自粛の影響や、積極的なマーケティング施策を講じた結果、LINE マンガの決済高は堅調に増加し、前年同期比で 20%の成長となりました
- コミュニケーションの売上は 74 億円(YoY 3.6% ↑ / QoQ 4.2% ↓)となりました
- その他コア事業の売上は 7 億円(YoY 42.4% ↓ / QoQ 0.6% ↓)となりました

戦略事業

- 戦略事業の売上収益は 79 億円(YoY 11.7% ↑ / QoQ 10.4% ↑)となりました
- そのうち LINE FRIENDS は、国内外の店舗運営自粛の影響を受け、売上が 25 億円(YoY 46.7% ↓ / QoQ 14.4% ↓)となりました
- 戦略事業の営業損失は 195 億円となりました
- 当四半期における LINE Pay のグローバル取扱高は 3,640 億円、グローバル MAU は 559 万人となりました
- LINE Pay の国内 MAU は 269 万人となりました
 - 引き続き大規模なマーケティングに頼らず、クーポンの提供などユーザーが利用頻度高く決済につながる施策を講じた結果、国内取扱高は前四半期比で増加しております
 - 4 月より Visa LINE Pay クレジットカードの申し込みを開始しており、取扱高、利用者数は順調に伸びております
- その他戦略事業のサービスにおいては、新型コロナウイルスの拡大を受け、デリバリーやテイクアウトの O2O サービスが好調でした。グルメ領域の取扱高は前年同期比で 67%の成長となりました

その他財務補足情報

- 決済手数料及びライセンス料は 103 億円(YoY 23.3% ↑ / QoQ 1.7% ↑)となりました
 - LINE マンガや LINE LIVE の売上増加により、売上連動費用が増加しました
- 従業員報酬費用は 193 億円(YoY 16.4% ↑ / QoQ 3.2% ↑)となりました
- マーケティング費用は 63 億円(YoY 51.6% ↓ / QoQ 32.4% ↑)となりました
 - LINE マンガや LINE Pay のマーケティング費用が増加しました
- 販売手数料は 20 億円(YoY 53.7% ↓ / QoQ 27.4% ↓)となりました
- 外注費は 117 億円(YoY 5.9% ↑ / QoQ 3.2% ↑)となりました
- 減価償却費は 66 億円(YoY 22.9% ↑ / QoQ 2.1% ↑)となりました
- その他の営業費用は 103 億円(YoY 12.3% ↑ / QoQ 54.7% ↑)となりました
 - 戦略事業において、LINE Friends の店舗等に関連する減損損失 44.5 億円を計上しております

Z ホールディングス株式会社との経営統合の状況に関するお知らせ

(「」内の用語は、2019 年 12 月 23 日付適時開示「経営統合に関する最終合意の締結について」において定義されております)

https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/ir/all/LINE_20191223.pdf

- 2019 年 12 月 23 日に締結された「本統合最終契約」の内容に変更はございません
- 既に公表されている通り、「本経営統合」は、必要とされる各国における競争法、外為法その他法令上必要なクリアランス・許認可等の取得が完了していること、その他「本統合最終契約」において定める前提条件が充足されることを条件として行われます

https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/ir/all/LINE_20200630_JP.pdf

- 2020 年 6 月 30 日時点において、「経営統合の実施に向けた進捗状況のお知らせ」をご案内しておりますので、併せてご参照ください
- これまでの開示内容に影響を及ぼす重要な事項が生じた際にはお知らせいたします

その他 2020 年第 2 四半期決算についてのご質問は ir@linecorp.com にお問い合わせください。
メディア関係者は PR 担当者にご連絡ください。